

した左手。この両手の手甲をびったりとつけ  
合わせ（背中合わせて）上下にこすり合う。

仲よし 「友」と同じ手まね。

なくなる (イ) 「消える」と同じ手まね。

(ロ) 掌を上向けた左手の上に、掌を下向けた  
右手を軽く叩たたき降してから、その右手を前  
へ近づけて、左手からまっすぐに離して行  
く。「使い果たす」と同じ手まね。即ち「す  
ってしまった」である。(ハ) 掌を下に向け、  
親指の指頭を下にさし、他の四指の指頭を前  
方にさした両手を少しの間隔を置いて左右に  
並らべて、同時に親指と他の四指の指頭をつ  
け合わせて閉じる。

仲人 仲介一人（男性或は女性）

濱 海岸と同じ手まね。

泣く 「悲しい」と同じ手まね。(ロ) 掌を

眼にあてがい涙を拭く身振。

情 (イ) 「情をかける」の場合。同情—愛

する。(ロ) 「情深い」の場合。心—柔らかい

(イ) 「情知らぬ」の場合。心—冷い。

情ない 「悲しい」と同じ手まね。

馴染 (イ) 会う—会う—会う—顔知ってい

る。(ロ) いつも—来る—仲よし。

何故 理由—何に。

名高い 名前—掲げる。

夏（暑い） (イ) 流れる汗を表現する心持

で、両手の五指の指頭で夫々の左右のこめか  
みから頬をなで降す。(ロ) 右手を扇か団扇を  
持っている姿態にしてあおる身振り。

捺印 左上上向けた掌の上に、右手を大き

な持印判をつた姿態にして捺印する身振り。

なつかしい 「思出」と同じ手まね。

納得する 「解る」と同じ手まね。

納得いかない 「不満」と同じ手まね。

何に 五指の指頭前方にさし、掌を左側に  
した右手を前へさし出して行く。この手まね

は、「……ですか」の疑問の「か」ともなる  
何程 「いくら」と同じ手まね。

生意氣 指頭を上にした親指の背で鼻頭  
を左右にこする。

波 掌を上向け五指の指頭を左にした右  
手を左から右へと波動を描く。

涙 「泣く」の何の手まね。

滑めらか 五指の指頭を上にしたし掌を左側  
にした右手で頬をすり上げる。頬の滑めらか  
さを暗示する。

悩む 頭をかかえて悩む身振。即ち掌を内  
側にして彎曲させた五指の指頭を前額部に押  
しつける。

習う 掌を内側にして、指頭を上にした  
人差指を少し曲げて、前方から鼻に向けて行  
く。「教えを受ける」即ち教えるの受身。

做う 「真似する」と同じ手まね。

習わし 掌を下に向けた左手の手首の上

に、掌を内側にし五指の指頭を左にした右  
手をのせると同時に、五指を拳に掘る。何度  
も「習わし」になって手についていること。

成る 掌を内側にし指頭を上にした人  
差指の両手を左右から相寄りして両腕をX形  
に交叉する。右のものが左へ、左のものが右  
へ変る即ち「成る」である。

並らぶ (何) 両手何れも五指の指頭を上  
にし、右手(掌は左向け)と左手(掌は右向  
け)を前後に並らべ一列縦隊の形をつくる。

(何) 両手何れも五指の指頭を上にして掌  
を内側にした両手を左右に並らべて一列横隊  
の形をつくり隊列の長さを表わすために、両  
手を左右に離して行く。

成程 うなづいてから「ほんとう」の手ま  
ねをする。

難解 五指の指頭を上にして掌を内側に  
して鼻頭をその中指で二、三度打って小首を